

## 平成 28 年度 第 1 回登録要約筆記者研修会

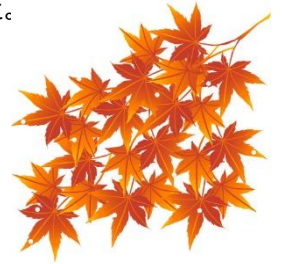
2016 年 7 月 24 日、第 1 回目の登録要約筆記者研修会が開催された。  
講師は全国要約筆記者問題研究会からお招きした、山岡千恵子氏。  
ハキハキとしたよく通る声の持ち主で、とてもパワフルな方だった。

講習会のテーマは「要約筆記者の倫理綱領を学ぶ Part 1」。  
あえて Part 1 と名付けたのは、今後受講生たちに、Part 2、3・・・と  
学習を続けてもらいたい、という講師の願いからである。

テーマの通り、倫理について考える時間であったが、私にとって最も心に響いたのは、  
「専門職能集団としてどうあるべきか」という言葉だった。

要約筆記というものを理解してもらうためには、自分は常に要約筆記者として見られている、という  
意識を持たなければならない。筆記する内容だけでなく、立ち居振る舞い、身だしなみ、全てに気を  
配ること、それが周囲への理解へとつながるという。

あたりまえのこのようで、それが一番大切なことだと感じた。



研修後、あるベテラン要約筆記者と話す機会があった。

少しでも多くの情報を伝えたくて必死だが、伝えるためには技術と知識が必要。  
登録研は事例検討の場もあり、トラブルなどの解決策を見出すこともできるので、  
多くの方に参加してもらいたい。

いつかは技術が発達して、要約筆記者がいらない世の中になることが望ましいが、  
それまでは、後進に技術や知識を伝えていきたい、とその方は語っていた。

誰かに伝えたい。共有したい。その思いこそが、要約筆記の原点だと思う。  
過去から現代、そして未来へ。要約筆記の技術と想いをこれからの世代に伝えていかなければならない。  
未来を担う若者の一人として、より一層努力し、技術と知識を磨いていきたい。

(南波史恵)



お互いの立場を思いやって

「フキのうた」「フキのうた」「フキのうた」

# 役員あいさつとお詫び

80号で今年度の役員ご紹介と、ご挨拶を掲載させていただきましたが、一部の役員の名前と挨拶文の掲載漏れがございました。

関係者の皆さま、大変申し訳ございませんでした。

遅くなりましたが、以下にご紹介させていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。



## ◇会計 山口智子さん



昨年に引き続き2年目となります。会計を務めさせていただきます、山口です。  
竹田在住なので、会員の皆さまにお会いできる機会も少ないのですが、新会長ならびに、役員の皆さまをお支えしていきます。陽ざしの会がよりよいサークルになるよう、皆さまご協力のほど、よろしくお願いたします。

なお、会計監査には、野上千賀子さん、平野美佐子さんが就任されました。

## ぶんど梅 「猫ちゃんとの出会い」

日野 恵

飼っていた猫が亡くなって、寂しくて寂しくて、毎日を過ごしていた時でした。

ボランティア活動をしている病院で知り合った患者さんから、「入院することになったので、飼っている猫を面倒見られなくなった。よかったら飼ってくれないかなあ。」と頼まれました。

こうして私が、4匹の猫たちを飼うことになりました。この猫ちゃんたちには、11万円も手術費をかけたので、今更、返すわけにもいきません。

小さいときは、障子に穴をあけて、頭ぶっこみでサッシと障子の間で「にやあにやあ。」

今ではいないと寂しいです。

すっかり大きくなった猫ちゃんたちに、「ねるぞ」と一声かけると、4匹全員やってきて、一緒に寝ます。朝寝坊が1匹、ああ、癒されます。

「ぶんど梅」は創刊以来続いている会員のエッセーです。



# UDトーク研修会に参加して

9月17日大分県聴覚障害者センターにおいて、人工内耳の会〔ACITA〕大分支部主催による「UDトーク研修会」が開催されました。

陽ざしの会研修部は、新しい技術の知識を得ることを目的としてこの研修会を9月学習会の代わりとし、パソコン会員4名、手書き会員5名の参加がありました。

まず、講師の鎌田浩二氏（全国難聴児を持つ親の会副会長・香川県難聴児（者）親の会会長）よりUDトークアプリのダウンロードの仕方・グループでの使い方、普及状況などの説明があり、参加者は実際に自分のスマホやタブレットでUDトークを使ってみました。

研修会に参加し、UDトークの現時点でのメリット・デメリット両方を知ることができました。

（研修部長・青木奈津子）



## UDトークとは

UDトークは、スマホの音声認識機能を使って、話しことばを文字化することができます。なにより聴覚障害者の情報保障のツールとして画期的なものと言えます。聴覚障害の議員が議会で利用している例があることから、認識精度の高さが想像できます。また日本語で話した音声を14か国語に変換。異言語間コミュニケーションにも役立ちそうです。

UDトークは、まずお互いに登録が必要です。その場で話すと端末に文字化し、相手に発信されます。メールのようなLINEのようなチャットみたいな感じ。会議で利用し、印刷すれば議事録にも。使い方は多様です。ただ、画面を終わらせてしまうと、話した内容は全て消えてしまいます。残しておきたい内容はコピーが必須です。

今のところ有料版、無料版（時間制限有り）があります。もっと、改良されて更に使いやすくなることを期待します。興味のある方は、「UDトーク」でネット検索してください。

## 天国の森崎さん、こんにちは

津田文子

今年も金木犀の香る季節になった。九月二十五日、数人の要約筆記者と話す機会があった。

その中の一人が、「今日は森崎さんの命日よ。」とぼつりと言った。

ああ、そうだ。一年前の九月二十六日、森崎さん、あなたに会いに行ったのだ。その日を最後にあなたとは永遠に会えなくなった。

あのとき、あなたは病魔との闘いを終えて、安らかに、ちよこんと眠っていた。それを見て、こんなふうにも死にたいものだと思った。

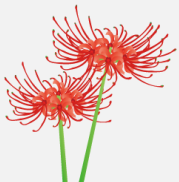
人生の最後の最後にたどり着いた、二度と目覚めない深い眠り。それはいつか必ず私にも訪れる。今、真っ赤な曼珠沙華があちこちに群れて咲いている。

もしご存命だったら、会長を引き継いだ私にあなたはどんな言葉をかけてくれるのだろうか。聞きたかった。

生野氏の手紙の中にあつたように、

この赤い花を目にしては、  
あなたのことを思い出している。

（十月一日記）





# 要約筆記派遣コーディネーター



岩田知恵さん



要約筆記コーディネーターとしてお馴染みの岩田さんに質問をしました。  
なかなか普段は、聞くことができない、お話を綴っていただきました。



～Questions～

&

～Answers～

質問①コーディネーターを目指したきっかけ、  
コーディネーターになってよかったこと、楽しいことは？

派遣コーディネーターは、希望して業務にあたるものではありません。  
協会・センター業務担当は「職員の業務担当表」により決まります。  
平成24年度からコーディネーター業務を担当し、今年で4年目になります。  
当初は慣れないことばかりで難聴者や要約筆記者の皆様にご迷惑をおかけしたことも  
多々あったと思います、楽しいというより、皆さんが派遣に快く応じて受けていただい  
たり、人数が足りない時や他にいないときは連絡してください。と個々人で調整してく  
れたり、本当に感謝しています。ありがとうございます。

質問②コーディネーターになって苦労すること、必要なこと



要約筆記派遣登録があっても、「技術がまだまだだから」等で派遣を断られることがあ  
り、派遣に行ける方が限定されてしまいます。  
派遣登録した以上は「とにかくやってみよう！」と、自らすすんで派遣依頼を受けて派  
遣に行ってほしいと思います。そのためには登録者研修会があり、派遣実施報告書から  
の課題についての研修の他、派遣制度や法律の変更に伴い、日々研修を重ねていく必要  
があります。要約筆記サークルに加入しているのに、登録者研修会に参加せず、派遣だ  
けに依拠していることについては現場での適切な対応等や、また、トラブルが起きた場合  
には報告と同時にその原因を分析しつつ、今後の派遣に活かせるように自己育成にも努  
力することが大事だと思います。  
派遣報告に守秘義務がありますが、現場で起こったこと、「気付き」は利用者への支  
援につながります。要約筆記者と利用者、派遣元と連携し「聴覚障害者の情報保障を社  
会に根付かせていく業務を担っているという意識をもち続けてほしいと思います。

質問③派遣依頼の時に気をつけていること



難聴者が派遣を利用しようとする背景や経過を考慮して聞こえの程度や利用の経験度  
に応じて派遣を利用する心理的負担を軽減する配慮も必要です。  
ただ、難聴という障害について難聴者本人も知識がなく、困難やどこに相談したらよい  
のか、情報を提供される場や機会が特に少なく、そういう意味でも派遣事業は難聴者  
にとって大切な社会資源の一つだと思います。  
派遣事業を通して、聴覚障害者への個別問題を把握していく取組みが十分に実施され  
ているとは言い難い状況にあります。今後、要約筆記派遣制度の啓発を行うとともに関係  
機関に派遣制度を周知させていきたいと思っています。

質問④勤務日は月何回？

法人の正職員で、常勤です。

質問⑤前職は？

センター職員の前の職業のことですか？

自動車部品関連会社で20年近く勤務しましたが、大分県聴覚障害者センターにろう者相談員として、入りました。

現在の担当業務は

- ① ろう者相談員
- ② 要約筆記養成及び派遣事業
- ③ 手話奉仕員養成事業（17市町村、社協）
- ④ 教育機関（高校、専門学校、大学）手話指導派遣事業
- ⑤ 大分市高齢重度聴覚障害者生活支援事業 他

大分県聴覚障害者センターHPより引用あり

「ご好評いただいております「歩み」ですが、今回諸事情により休載となりました。代わりに、筆者であります児玉さんの過去の写真をご紹介します。なお、82号を持ちまして「陽ざしの会」の歩みは、最終回とさせていただきます。長い間、ありがとうございました。」



実行委員長 児玉幸代さん挨拶



第9回九州要約筆記グループ懇談会  
in 大分



H18.県社協より感謝状受賞



「陽ざしの会」の歩み

懐かしの写真集・活き活きと、活動中の

陽ざしの会の先輩たち（平成8年）

# 住み慣れた地域で自分らしく生きる

## 全要研大分県支部で講演会

聴覚障害者センターで10月2日（日）、全要研大分県支部主催の講演会が開かれた。参加の呼びかけを受けて、陽ざしの会からも会員が聴講した。

講師はおふたり。神田幸子氏（認知症家族の会・安心研究会事務局）が「住み慣れた地域で自分らしく生きていくには」、続いて吉野亮氏（社会福祉法人任運社 総合相談支援サービスセンター所長）が「介護保険を上手に利用するには・・・現状について」と題して講演した。



### 認知症予防には笑顔で

神田氏は、まず認知症は主に4つのタイプに分けられること。中でも血管性認知症は、生活習慣の改善により回復も可能であると説明。適度な運動、減塩や抗酸化の食事、脳を鍛える趣味、そしてなにより笑顔でいることが認知症予防には大切と話された。また、以前は徘徊や弄便、異食などの問題行動を抑制するケアが一般的だったが、今では環境整備をすることで、生活行為の復活や家族規模の人間関係をつくる生活支援型に変わってきたことを紹介した。



手話を交えながら明るく話す講師のお人柄に、参加者から多くの質問が飛んだ。

### 次々と出る質問

介護保険については吉野氏が講演。途中で次々と出る質問に答えるかたちで解説を進めた。いざ介護保険を使おうとしても、その制度を熟知している人はごく限られている。介護認定申請の手続きや利用方法、介護度別の利用限度額、訪問サービス・通所サービスのあれこれなど、理解しておくべきポイントを、絞りに絞ってお話しされた。

引き続き講師と参加者で昼食を囲み、介護体験や身近な健康問題で話がはずんだ。

### 〈参加者の声から〉

「今日はいろんな質問や相談ができて良かった」「認知症を前向きにとらえている。明るい気持ちで帰れる」「もっと時間が欲しかった。吉野さんたちの携わる\*認知症カフェにも、行ってみたい」

\*認知症カフェ・豊後大野市から安心研究会に委託された事業。家族の会や地域ボランティアに支えられて運営。



## 続報：今年度学習計画

平成 28 年度も、後半に差し掛かりました。11 月以降の学習会について、大まかではありますが、皆さまにご報告申し上げます。より多くのご参加をお待ちいたしております。

### \* 11月～1月学習会

第3土曜日 14:00～16:00 センター(予定)  
パソコン・手書き共に、機材を使用した実践練習

### \* 2月学習会

2/18(土) 14:00～16:00 センター(予定)  
パソコン・手書き合同 講師を招いての要約学習



### \* 3月学習会

3/18(土) 14:00～16:00 場所未定  
企画部主催の行事参加を学習会の代わりとする

お知らせ  
今後の企画部

企画部長 小野和子さんからのお知らせです。  
毎年、秋は行事が重なり、各団体共通の悩みですが、都合を付けるのが困難になってきました、色々な意見もいただき、秋のバス観光の代わりに来年の4月に(総会迄に)お花見、また、12月に会員忘年会を検討中です。予定ですし、初めての試みなので、上手く実行できるかわかりませんが、みなさんが楽しめるようにと思っています。

11月の他団体との交流は4月のお花見に、3月の会員交流会は12月の忘年会に変更予定です。新しい試みになりますが、奮ってご参加ください～♪

### 貸出図書のご案内

この度、陽ざしの会で書籍を購入しました。ドキュメンタリー漫画の旗手、吉本浩二さん著のコミック「淋しいのはアンタだけじゃない」です。  
ボランティア室の陽ざしの会ロッカーに入れてますので、ぜひ読んでみてください。

なお借りる際は、本の中にあるカードに記入し、カードをロッカー内に置いて帰ってください。  
期限は一月。次例会の日にお返しください。くれぐれも、まだ貸しはおやめください。



吉本さんは、日本福祉大学のご出身。ただ福祉関係からは遠い職業でした。  
そんな吉本さんが、ある縁にも助けられ、聴覚障害の世界を描くことに。そしてご縁は不思議な糸でつながっていき……。マンガならではの表現で、聴覚障害が、そしてストーリーが描写されていきます。

日本中を騒がせた、あの佐村河内守氏の事件も取り上げます。新しいドキュメンタリーマンガであり、且つ、ミステリーとも言えるかもしれません。

(出典：小学館ホームページ)

## 字幕リサーチャー講演会

日時:2016年12月4日(日) 13時~15時

場所:大分県聴覚障害者センター 研修室

講師:全要研理事 川野 桂子氏

「字幕リサーチャー」(字幕のない映像を見つけ、観光地などの字幕整備のために活動する人)についての講演会



# ぜひご参加を!

## 大分県難聴者福祉講演会

日時:2017年1月29日(日) 14時~16時半

場所:ホルトホール大分 大ホール

講師:大沼 直紀氏

なぜ聞こえの問題は理解されにくいのか!?  
難聴への新しい対応と展望

## お知らせ

### 全国統一要約筆記者認定試験事前学習会

日時:11月27日(日) 10時~15時

場所:大分県聴覚障害者センター

### 第2回登録要約筆記者研修会

日時:2017年1月22日(日) 10時~15時

場所:大分県聴覚障害者センター

### 全国統一要約筆記者認定試験

日時:2017年2月19日(日) 13時~15時半

場所:大分県聴覚障害者センター



新会員さんが入りました!

ひがし

東 めぐみさん

どうぞよろしくお願ひします

秋も本格的に深まって  
きましたね。  
さて、今回の広報紙は  
記事がなかなか決まら  
ず、苦労しました。毎年  
あった、お決まりの行事  
が無くなったこと、行事  
の関係で予定より一週間  
早まった例会…、焦りま  
したが、何とかなるもの  
ですね。  
そして、長いこと続い  
ていた「歩み」は、今回  
で最終回の予定でした  
が、都合により82号に載  
せませす。今回は、懐かし  
い。写真をお楽しみくださ  
(久松)